

# アーティストのためのベストセキュリティを保持するための実践

セキュリティは業界における全てのプロフェッショナルの責任である。



<p><b>物理的セキュリティ</b> スタジオ、機材、リソースへの許可されていないアクセスは断る。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>□ 雇用主が許可したビジター以外は職場に招待しない。</li><li>□ ID バッチを人に貸さない。</li><li>□ スクリプト、プロップ、リムーバブルストレージデバイスなどプロジェクトの秘密に関わる物は鍵のついたストレージルームに保管する。</li></ul>	<p><b>パスワードセキュリティ</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>□ 他の人と自分のパスワードを共有したり、他の人に自分のパスワード貸したりしない。あなたのユーザーアカウントの全てのアクティビティはあなたの責任です。</li><li>□ 全てのアカウントのパスワードを定期的に変え、常に強力なパスワードを使う。</li><li>□ コンテンツへのアクセスのパスワードには、それ以外のサービスのパスワードと異なるパスワードを使う。</li><li>□ ログインとパスワードの情報は決して一緒に送らない。例えば、ユーザー名をメールで送ったら、パスワードはテキストで送る。</li><li>□ パスワードはきちんと保管し、パスワードを書いたポストイットを、コンテンツを有するコンピュータ、ラップトップ、暗号化されたデバイス等に決して張ら</li></ul>	<p><b>コンテンツのセキュリティ</b> 許可されていないアクセスやデジタルコンテンツの損失を最小限にする。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>□ デジタルコンテンツの転送はクライアントまたは職場が認可した安全な方法だけを使用し、eメール、またはFTPの様な暗号化されていないサービスを使用しないこと。</li><li>□ あなたの職場には安全なネットワークが設置されている。ネットワークの安全性を保持するのはあなたの責任です。許可されていないハードウェアを接続や、無許可でソフトウェアをダウンロードはしないこと。</li><li>□ コンテンツは適切な場所にセーブし、定期的なバックアップを確実にする。</li><li>□ クライアントのコンテンツ、または慎重に扱うべく資料に関しては、クライアントまたは雇用主から明確な認可がない限り、Cloud Storage、Google Drive や Dropbox の様なバックアップサービスを使用しない。</li></ul>
<p><b>ソーシャルエンジニアリングに気をつける</b> 個人の意思に関わらず 秘密情報を公開するように操作する手法。一般戦略。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>□ クライアントまたは雇用主が提供するセキュリティポリシーを常にきちんと読むこと。コンテンツオーナーが、コンテンツを受け取ったり、ハンドルしたり、見ることを許可していない人とは、コンテンツを決して共有しない。コンテンツへのアクセスはプロジェクトに直接的に関わって人達のみに限る。</li><li>□ LinkedIn や IMDB 等のプロフィールに、公開されていない作品の情報をクリアランス無しに掲載しない。</li><li>□ 可能な限り、実際の作品名を使わず、プロジェクトを仮名（コードネーム）で呼ぶ。</li><li>□ 公共の場で仕事仲間と仕事の話をする時は、特に気をつけて、近くにプロジェクトのスタッフ以外の人がいるところではプロジェクトの話はしない。</li></ul>	<p><b>セキュリティ事故</b> セキュリティブリーチが起きた場合</p> <ul style="list-style-type: none"><li>□ コンテンツの損失の疑いがある場合、雇用主またはコンテンツオーナーに即座にレポートする。</li><li>□ 他の人のセキュリティブリーチまたはセキュリティの無視を見てもみないふりをしない。その出来事を知りながらレポートしない場合、あなたにもその責任が生じます。</li><li>□ セキュリティブリーチの疑いがある場合、スーパーバイザーまたはテクノロジーチームのアドバイスを仰いで下さい。</li></ul>	

注) これらはVESのテクノロジー委員会が制作した一般的なガイドラインである。具体的にセキュリティポリシーはスタジオ、ファシリティー、プロダクションによって異なる。

疑問、質問がある場合はプロデューサー、スーパーバイザーまたは、雇用主の人事担当者にコンタクトして下さい。詳細は

<http://www.fightfilmtheft.org/facility-security-program.html> を参照して下さい。